

日常診療を変えるエビデンスを皆様へ。

日頃より「今日の臨床サポート」をご愛顧いただき、ありがとうございます。

2024年8月に改訂された臨床レビューの中から、日常診療に大きく影響を与えるようなエビデンスをご紹介します。

ICUルーチン（小児）	<ul style="list-style-type: none"> ・小児の集中治療管理のドクトリン（大枠）は、成人を対象とした場合と大きく違いはない。ただし、小児独特の疾患、体格や発達段階を考慮し、管理の違いなどを理解する必要がある。本稿では成人のICUルーチンを基本として、小児特有の疾患・病態や管理方法などについて特筆した。 ・PICUでも、system-basedで評価する。そのため本稿でもSystemごとに解説を行い、また関連する疾患の臨床レビューをリンク表示した。 ・小児では発育・発達評価も行う。発育・発達障害を疑う時は、基礎疾患や虐待も考慮する。 ・集中治療では、とにかく「診察」をすることを忘れないようにする。心雑音、呼吸音、腹圧、など触って、聞いて状況を把握しておく。ICUの患者は刻一刻と状況が変わるので、少し前の状況、薬のレスポンス、病態の把握が一般患者よりさらに重要である。
安定冠動脈疾患	<ul style="list-style-type: none"> ・疾患概念の変遷を受けて、従来の版では「安定狭心症」「慢性期冠動脈疾患」「無症候性心筋虚血」として記載されていた内容を「安定冠動脈疾患」の1つのセクションに統合した。 ・推奨に関しては、2019年の欧州心臓病学会（ESC）ガイドライン、2022年の日本循環器学会（JCS）ガイドライン、そして2023年の米国心臓協会/米国心臓病学会（AHA/ACC）ガイドラインの最新の内容を中心にとりまとめた。 ・詳細は臨床レビューを参照いただきたい。
骨髄異形成症候群	<ul style="list-style-type: none"> ・最新の情報に基づいてコンテンツを見直し、改訂を行った。 ・ルスパテルセプトが骨髄異形成症候群に伴う貧血に対して2024年に薬事承認された。環状鉄芽球を持つ鉄芽球性貧血（あるいはSF3B1遺伝子変異を伴う低リスクMDS）に対して特に貧血改善効果を示す（Platzbecker U, et al. Lancet. 2023 Jul 29;402(10399):373-385., Fenaux P, et al. N Engl J Med. 2020 Jan 9;382(2):140-151.）。 <ul style="list-style-type: none"> >> ルスパテルセプトはTGFβ受容体に結合するリガンドをトラップして赤芽球の成熟を促進すると考えられている。 >> 第III相臨床試験は低リスク例のみを対象に実施されており、高リスク例への使用は推奨されない。 >> 生存を評価項目とする臨床試験は実施されておらず、生存の改善効果は示されていない。 >> 国内での添付文書上の適応にIPSS-Rリスクに関する制限はない。しかし、開発の経緯などから考えて実臨床では低リスク例に対して用いるのが適当と考えられる。1回1.0 mg/kgを3週間間隔で皮下投与するが、反応性や副作用によって増量、休薬、減量、中止が定められており、添付文書を十分に理解して使用する必要がある。 >> 副作用としては悪心、頭痛、高血圧、注射部位反応、疲労、などがある。Gradeに応じた投与量の調節が必要である。 ・PSS-Rにゲノム変異情報を加えたMolecular International Prognostic Scoring System（IPSS-M）が作成されており、現在最も用いられているIPSS-Rより詳細な予後予測が可能と報告されている（Bernard E, et al. NEJM Evid. 2022 Jul;1(7):EVIDoa2200008.）。わが国では現時点で実臨床ではゲノム変異検査が実施できず、十分な利用ができない。

『今日の臨床サポート』とは

エビデンスに基づく日本語によるリファレンスツールです。約1,430の疾患・症状概要、診断・治療方針などをご覧になることができます。ジェネリックを含む薬剤情報、疾患・症状の患者向け説明資料、インターネット版ではPubMedへのリンクもご用意しています。

QRコードまたはURLからアクセスできます。イントラ版をご契約の施設では、院内端末からログインなしでご覧になることができます。



<https://clinicalsup.jp/jpoc/>

ログインには、①ユーザー名、②パスワード、③施設コードが必要です。管理者の方にご確認ください。

最新エビデンスをタイムリーに受け取れます。ご登録はこちらから。

